

1. この地域の自然に関する次の説明に一つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(1) 宮川

- (イ) 大台ヶ原を源流として、伊勢湾にそそぐ長さ 90km 余の川である。
- (ロ) 上流はわが国有数の多雨地帯である。
- (ハ) 全国一級河川水質ランキングで一位になったこともあり、いつも上位を保っている。
- (ニ) 潮の干満は豊浜大橋まで見られる。

(2) 五十鈴川

- (イ) 宮川とは河口を異にするが、勢田川を介して宮川とつながっている。
- (ロ) 内宮の宮域を流れ、上流には神宮林が広がっている。
- (ハ) 長さ 10km 余、御裳濯川の別名がある。
- (ニ) 15 世紀末の地震までは、江を河口とする今の派川が本流であった。

2. 次にあげる世古は、それぞれ下記のどの由来によるといわれていますか。考えられる由来を回答群の記号で答えなさい。() は世古の存在する・した場所を示します。

回答群 (イ) 地形 (ロ) 方角 (ハ) 会社名 (ニ) 神社名

(3) 吃驚世古 (岩渕)

(4) 烏帽子世古 (宮町)

(5) 堤世古 (浦口)

(6) 八幡世古 (常磐)

3. 下記の名所、史跡、施設は、次の宇治の地図のどこに示されていますか。それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

(7) 神宮司庁

(イ) C

(ロ) F

(ハ) G

(ニ) L

(8) 宇治法楽舎跡

(イ) A

(ロ) D

(ハ) F

(ニ) G

(9) 荒木田守武墓碑

(イ) B

(ロ) C

(ハ) D

(ニ) E

(10) 旧慶光院

(イ) B

(ロ) E

(ハ) F

(ニ) L

(11) 御側橋

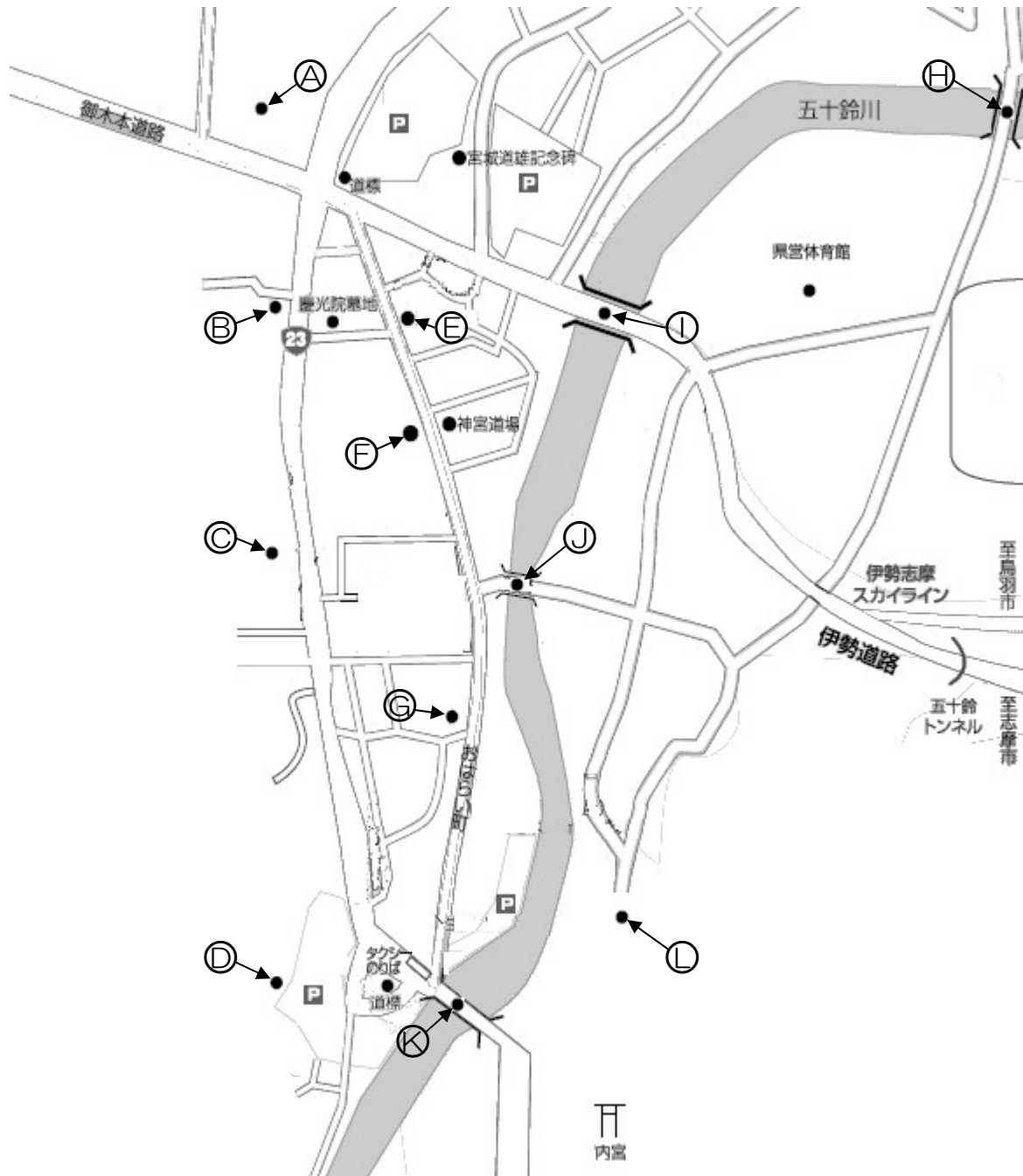
(イ) H

(ロ) I

(ハ) J

(ニ) K

(宇治の地図出題イメージ)



4. 次の用語は、この地域で、人の動作や状態を表すことばですが、それぞれの意味を持ったことばですか。回答群の中から、正しいと思われるものを選んで、記号で答えなさい。

回答群 (イ) ちらける

(ロ) はっきりよくならない

(ハ) 痛い

(ニ) 片付ける

(12) にかにかする

(13) しまう

(14) ふっちにする

(15) ほっこりせん

5. 次の用語はこの地域の方言ですが、それぞれどの種類のことばですか。回答群の中から、正しいと思われるものを選んで、記号で答えなさい。

回答群 (イ) 作業 (ロ) 動作 (ハ) 情感 (ニ) 感覚

(16) いろろう

(17) けなりい

(18) (ものを) つる

(19) ひやかいい

6. 伊勢のまちづくりを振りかえると、ご遷宮の時期と重なって進められたことが多いことに驚かされます。次の事業はいつのご遷宮の時期と重なって進められましたか。回答群の記号で答えなさい。

回答群 (イ) 第58回ご遷宮：昭和4年 (ロ) 第59回ご遷宮：昭和28年
 (ハ) 第60回ご遷宮：昭和48年 (ニ) 第61回ご遷宮：平成5年

(20) 県道鳥羽松阪線の整備（当時の参宮有料道路の開通）

(21) 世界タートルマラソン大会

(22) 全国高校総合体育大会

(23) 神都博覧会

(24) 第1回神宮奉納大相撲

(25) 参宮急行電鉄開通

7. この地域の道路網に関する次の説明に一つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(26) 伊勢自動車道

- (イ) 通称伊勢自動車道は、正式には近畿自動車道関伊勢線という。
- (ロ) 高速自動車国道法による規制がある。
- (ハ) 昭和 50 年、関・久居間が開通、順次延長され、平成 5 年伊勢まで開通した。
- (ニ) 延長部分の伊勢二見鳥羽ラインは平成 6 年に開通した。これも高速自動車道路である。

(27) 旧国道 23 号

- (イ) 東京から伊勢に至る道路が大正 9 年に国道 1 号に指定された。
- (ロ) 国道 1 号四日市市日永から内宮前までが、昭和 27 年に国道 23 号となった。
- (ハ) このころ、三重県国道改良促進期成同盟が結成され、その中で、旧伊勢電鉄の軌道敷（櫛田川・宮川間）を国道として整備することが決まった。
- (ニ) そして、昭和 28 年末、櫛田橋・度会橋間 10.6km が全国で 2 番目の有料道路として開通した。

(28) 御木本道路

- (イ) 昭和 10 年代に、外宮と内宮を結ぶ第 2 の道路として、いわゆる神都計画の中で計画された。
- (ロ) 昭和 14 年の街路の都市計画決定においては、人と自転車専用の公園道路として計画されている。
- (ハ) 昭和 21 年御木本幸吉が米寿の祝いとして 50 万円の資金を提供したので、これを基金として、事業が進められた。
- (ニ) 延長 3.5km、中間点に伊勢自動車道乗降口が設置された。

(29) 伊勢道路

- (イ) 宇治館町と志摩市磯部町川辺とを結ぶ 15.2km の道路である。
- (ロ) 古くから志摩の物産を伊勢へ運ぶルートとして利用され、逢坂越えと呼ばれた。
- (ハ) 五十鈴トンネルと志摩路トンネルを掘削して、昭和 40 年に開通し、当初は有料であったが、平成 5 年ご遷宮の年に無料になった。
- (ニ) 島路川の溪谷にそうため、春秋は樹木が美しい観光道路である。

8. 市内に散在する次の施設などの位置について、正しい位置関係はどれかを、記号で答えなさい。

(30) 宮川を下流に向かって

A 山田奉行所記念館 B ゴーリキアイランド C 尾崎罌堂記念館

(イ) A B C (ロ) B C A (ハ) C A B (ニ) C B A

(31) 五十鈴川派川を下流に向かって

A 安土桃山文化村 B 二見シーパラダイス C サンアリーナ

(イ) A B C (ロ) B C A (ハ) C A B (ニ) C B A

9. わが国の工業の発展と、この地域の関わりについて述べた次の文の（ ）の部分に、最も適当な用語を選んで、記号で答えなさい。

わが国が工業製品の輸出国としてスタートを切ったのは、第一次世界大戦中である。資本の蓄積はまだ不十分であったが、一定レベルの労働力は豊富で、労働集約的な紡績、織物、製糸などの繊維工業が発展した。この地域にも、大正8年地元資本の伊勢紡織が設立され、大正9年には(32)、大正10年には小俣町に(33)が立地した。

昭和10年代になると、工業は軍需産業化し、昭和16年、航空機用電機製品の工場として(34)が立地、昭和19年には、東洋紡宮川工場の遊休施設を利用して(35)が立地した。

敗戦で工業生産は、戦前の30%程度に落ち込んだが、昭和30年ころには、戦前の生産を上回るようになった。こういう中で、大湊の造船業も木造船から(36)へと変換をとげていった。重工業はかさばった材料とエネルギーを大量に消費し、その輸送と貯蔵のために(37)を必要とした。そして、そのような条件のところに、大規模な工業は立地した。伊勢はこのような条件に恵まれず、工業の発展に遅れをとることになった。

しかし、近年は、重厚長大とは対照的な軽薄短小な商品の特徴とする産業にとって代われつつある。より付加価値の高い、技術・知識集約的な産業、具体的にはコンピュータ、半導体、OA機器などの類である。(38)や京セラ、ノリタケ伊勢電子などの発展が期待される。

- | | |
|-------------------|----------|
| (32) (イ) 東洋紡績 | (ロ) 興亜紡績 |
| (ハ) 大日本紡績(宮川モスリン) | (ニ) 大東紡績 |

- | | |
|-------------------|----------|
| (33) (イ) 東洋紡績 | (ロ) 興亜紡績 |
| (ハ) 大日本紡績(宮川モスリン) | (ニ) 大東紡績 |

- | | |
|------------------|----------|
| (34) (イ) セントラル硝子 | (ロ) 神戸製鋼 |
| (ハ) 横浜ゴム | (ニ) 松下電工 |

- | | |
|------------------|----------|
| (35) (イ) セントラル硝子 | (ロ) 神戸製鋼 |
| (ハ) 横浜ゴム | (ニ) 松下電工 |

- | | |
|----------------|------------|
| (36) (イ) 木鉄混交船 | (ロ) 鉄鋼船 |
| (ハ) FRP船 | (ニ) アルミ合金船 |

- (37) (イ) 運河 (ロ) 港湾
(ハ) 貨物ヤード (ニ) トラックターミナル
(38) (イ) ユーエル・ジャパン (ロ) アシストシンコー
(ハ) 菊川鉄工所 (ニ) 美和ロック

10. 伊勢で作られるおもちゃを製作の仕方から分類したもののうち、正しいのはどれか、記号で答えなさい。

A：竹鳴りコマ	B：ケン玉	C：竹笛
D：獅子頭	E：鉢巻タコ	F：へび
G：だるま落とし	H：カメ	I：コルク鉄砲

- (39) 割り物
(イ) B D E (ロ) B G I (ハ) E G H (ニ) G H I
- (40) 練り物
(イ) B D E (ロ) B D H (ハ) D E H (ニ) D H I
- (41) 竹細工
(イ) A C F (ロ) A C I (ハ) C F I (ニ) B C F

11. 宮川下流の農業に関する次の文の（ ）内に該当する適切な用語、数字を選んで、記号で答えなさい。

宮川下流の平野では、古くから農業が行なわれてきたが、右岸の(42)の自然堤防及び、左岸の(43)台地の水準が、宮川の水面より高いため、宮川の水を灌漑用水として直接利用することができず、畑作中心の農業を営んできた。明治末から太平洋戦争後まで、この地域の換金作物の中心となったのは(44)で、これを漬物にして関西へ売り捌いてきた。1970年代に宮川用水が通水すると、イチゴ、メロン、花などの新しい農業が行なわれるようになった。イチゴは、ハウス栽培の普及や品種改良により、収穫期が早まり11月ごろから初夏まで味わえるようになった。昭和40年ころまでは、(45)に収穫され、市場に出回るにすぎなかった。

- (42) (イ) 旧四郷村 (ロ) 旧浜郷村 (ハ) 旧御菌村 (ニ) 旧豊浜村
- (43) (イ) 小俣 (ロ) 明野ヶ原 (ハ) 御菌 (ニ) 田丸
- (44) (イ) 大根 (ロ) カブラ (ハ) アブラナ (ニ) 白菜
- (45) (イ) 1～2月 (ロ) 3～4月 (ハ) 5～6月 (ニ) 11～12月

12. 伊勢の町家の特色を示す建築用語から正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (46) 切妻作りの屋根の軒に向かってのふくらんだ姿
(イ) すぐ (ロ) そり (ハ) むくり (ニ) おたふく
- (47) 伝統的な建物に使用された外壁塗料
(イ) しゅんけい (ロ) かきしぶ (ハ) ぬれがらす (ニ) しっくい

13. 次の文「蘇民将来と巨旦将来」を読んで、設問に答えなさい。

スサノオは根の国に行こうとして、ミタワの国まで来られたが、暴風雨にあって大変難儀をせられた。まず、巨旦に宿を乞うた。かれは富んでいたが、すげなく断った。

スサノオは、つぎに弟の蘇民の家を尋ねた。かれは貧乏であったが、喜んで迎え入れ、栗の飯でもてなした。スサノオは、食事のあとと言った。「おいしかった。しかし、この味で占てみると、アワサの国から、悪い病気が移ってくるようだ。早速家の周りに垣を作りなさい。」

蘇民は驚いた。この風雨のなか、兄も村人も早く戸を閉ざして寝てしまっ、これを知らせることもできない。やっと自分の家だけ、カヤを刈って垣をこしらえた。

朝がくると、からりと晴れてよい日であったが、兄の巨旦も村人も、みんな死んでしまっていた。スサノオは出発にあたって、「家の入り口に蘇民将来子孫の家と書いた札を出しておくがよい。そうすれば悪い病気に罹らないであろう」といって立ち去った。

(48) ミタワの国はどこにあったと考えられるか。

(イ) 備後の国 (ロ) 五十鈴川上流 (ハ) 立石崎 (ニ) 二見町松下

(49) カヤで家の周りに垣をこしらえることと、直接的に意味が違うのは次のどれか。

(イ) 茅の輪を腰につける
(ロ) 蘇民将来子孫の家の門符を入り口につける
(ハ) 二見浦でミソギをする
(ニ) 注連縄を張る

(50) この話のスサノオは、別の民話では次のだれにあたるか。

(イ) 天照大神 (ロ) 牛頭天王 (ハ) ヤマトタケル (ニ) ニニギノ尊